

「生涯活躍のまち」第3回事例紹介セミナー

日時

令和6年8月8日(木) 14:00~15:30

Zoom会議

セミナーの内容

主催：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

概要

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」づくりに係る取組の共有のため、北海道東川町様 及び 鹿児島県伊仙町様 から取組事例について発表していただきました。

事例紹介
1

多文化・多世代共生のまちづくり 北海道 東川町



写真文化首都



「生涯活躍のまち」の導入

- 1985年ごろから「写真の町」をスタートさせ、毎年移住等により人口増加傾向であったが、若年層の人口減少や出生数の減少等が課題となっていた。**新しい住民や外国人が増えている状況を地域の強みと捉え**、更なる移住促進・関係人口創出を期待し「東川版生涯活躍のまち」に取り組むこととした。
- 盤石な税収基盤があるわけではなく、過疎債なども活用できなかったため、**財源確保が最も苦労した点であった**。このため地方創生推進交付金を最大限活用するため取組を進めた。
- **職員や関係団体から聞き取って地域課題やニーズを整理したうえで**、地域再生計画等に事業を落とし込み、地方創生推進交付金の実施計画が採択されたのち、事業がスタートした。

具体的な取組

- 具体的な施策について、しごとコンビニ事業などの「新しい働き方やしごとをつくる」を始めとした6つの取組を実施。このうち多文化共生の観点では、**常時300~400人の留学生を有する町立日本語学校を核に、地域のイベント参加機会の創出するとともに、留学生と地域企業とのマッチングすることにより、地域で活躍できる外国人材を育成し、卒業後も日本で働く人材を創出している**。
- また、地方創生拠点整備交付金を活用し、健康づくり、介護予防、子どもの遊び場等に活用する「生涯活躍のまち」の拠点を整備し**全世代がごちゃまぜとなるよう取り組んでいる**。
- 事業主体として、**町内公共施設の管理運営等を実施していた東川振興公社に生涯活躍のまち事業全体を委託し、町内外のネットワーク等を活用しながら推進していただいている**。

事例紹介
2

認知症にならない長寿の島・子宝の島 鹿児島県 伊仙町



「生涯活躍のまち」の導入

- 伊仙町が元々持っていた「長寿・子宝のまちの地域力」を生かした「地方創生」を推進していたが、**この同町の特徴と近い考え方により骨格をなしている「生涯活躍のまち形成事業」について、地域再生計画を作成、推進することとした**。
- 導入にあたっては、**住民の方たちへ説明する際に「地方創生」や「生涯活躍のまち」というフレーズではなかなか取り組みを理解してもらえなかったため**、高齢者の介護予防に係る既存の取組であった「地域サロン」という言葉であったり、各集落の公民館で子どもたちの宿題をする場や放課後の居場所を作る等といった、**地域住民に理解いただけそうな言葉に置き換えて説明を実施し、ご理解いただいた**。

具体的な取組

- 「包括支援センター」の取組を中心としながら、地域再生推進法人「長寿子宝社」に委託して「生活支援体制整備事業」や「高齢者元気度アップポイント事業」等を実施するとともに、「健康増進施設ほーらいかん」に委託して、インストラクターが高齢者の介護予防教室を開催している。
- 「**小規模校区を残すまちづくり**」をキーワードに小学校区や集落など小さなコミュニティ単位での**多世代交流**を促し、地域コミュニティ機能の維持を図っており、小中高校生向けの学習支援などを充実させたり、町内の高齢者に講師してもらって郷土学習により活躍や世代間交流の場を生み出して**高い地域力で子ども見守り子育てを支援している**。



事例紹介に関するQuestion

事例1 多文化・多世代共生のまちづくり

Q 地域再生推進法人と町営日本語学校の関わり方を教えてほしい。

A 留学生の方に、盆踊りやそば打ち体験等の日本文化の体験を始めとした地域コミュニティに馴染んでもらえるような取組を実施するとともに、町内外のネットワークを生かして日本における就職のサポートやマッチングを担っている。

Q 在住の外国の方に関する寛容性については、もともと地域にあったものだったのか、それとも醸成したものだったのか。

A 外国の方は町営日本語学校の留学生が多く、こうした留学生は町が責任をもって指導等をするとともに、地域コミュニティに馴染めるよう取組を進めてきたため、外国の方が町内にいることについて、地域住民はポジティブにとらえられているように感じている。

事例2 認知症にならない長寿の島・子宝の島

Q 市内を循環しているバスというのはスクールバスも兼ねているのか。

A 兼ねているものではないが、町内全域を走るようにしている。また、「長寿子宝社」において学童保育の運営も受託しており、こちらの送迎については実施している。

Q 地域デビューポイントとは何か。

A 様々な活動や健康予防教室などに参加したことのない高齢者を、グループで一番最初(きっかけ)に活動などに参加させた場合、加算されるポイント。「高齢者地域支え合いグループポイント事業」の一つであり、他のポイント事業と同様に紙媒体のポイント手帳で管理している。

参加者の方からは、このほかにもたくさんご質問いただき、積極的にご参加いただきました。

参加者の声

今回の事例紹介セミナーには、**31の団体**に参加登録いただきました！

参加者の声

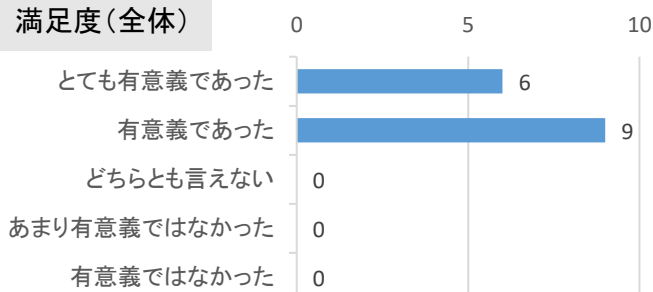
「生涯活躍のまち」の手本のような取組をされていて大変参考になった。

地域再生推進法人の指定までの流れがよくわかった。

地域コミュニティを大切にすることで、結果として子育て支援などの対策に繋がっている取組が大変参考になった。

他市の取組事例を知ることは新しい発見につながると感じた。

満足度(全体)



それぞれの講演についても、すべての回答者が「有意義であった」との回答でした。

お問合せ先

「生涯活躍のまち」分科会について

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 中村・藤村

☎ 03-6257-1414

✉ JPccrc@cas.go.jp

「生涯活躍のまち」のイメージや取組事例等については、次のURLからご確認ください

<https://www.chisou.go.jp/sousei/about/ccrc/index.html>

